

東京大学「知の頂点に向かって加速！東大プラン」

【課題の概要】

東京大学ではアクション・プランや文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業「東大モデル『キャリア確立の10年』支援プラン」(2007～2009年度)により、女性研究者の参画促進に取り組んできた。本計画は、本学初の「女性限定教員公募」のための総長裁量ポストを配分することを契機として、目標の超過達成を目指す。事業終了時の在籍女性研究者数及び比率の達成目標は、理学系で49名(8.7%)、工学系で59名(6.9%)、農学系で32名(8.7%)である。新規養成研究者には1名につき3年間の研究経費補助を実施するほか、メンター教員やサポート要員の配置等、教育・研究活動支援と両立支援を積極的に行う。既在籍女性研究者に対しては、研究スキルアップの経費支援によりキャリアアップを実現できる環境を整備する等、女性研究者の参画を加速することにより、多様性に満ちた知を創造し、大学と社会の知の還流の促進を通じて、知の頂点を形成していく。

【実施体制】

総長直轄組織である「男女共同参画室」(担当理事、教員及び本部職員を構成員とする組織)には、「勤務態様部会」「環境整備部会」「進学促進部会」「ポジティブ・アクション推進部会」の4部会を設置しており、「ポジティブ・アクション推進部会」には、工学系研究科、理学系研究科、農学生命科学研究科等の男女共同参画担当委員会の長(部局により名称は異なる。)が加わり、本事業を推進している。

また、男女共同参画室 女性研究者支援相談室には専任スタッフ1名(専門相談員)が配置され、多岐にわたる男女共同参画室の活動を支えている。

【2014年度の取組状況】

- ・ 2012、2013年度採用の新規養成女性研究者31名に対しては、1名あたり75万円以内の研究費(スタートアップ研究費(2、3年目))を支給し、引き続き研究活動の支援を行っている。
- ・ 2014年度採用の新規養成女性研究者6名(10月現在)に対しては、1名あたり100万円以内の研究費(スタートアップ研究費(1年目))を支給し、着任後の円滑な研究活動開始を支援している。
- ・ 新規養成女性研究者1名につき2名のメンター教員を配置し、研究・教育活動への助言を行っている。
- ・ 既在籍女性研究者を対象に、国内外での学会活動を活発に行えるよう研究スキルアップ支援経費を支給する。

上記のほか、独自の取組みとして、女性研究者の候補者となる女子学生数増加対策、育児休業等に対する支援制度の実施や外部資金を活用した特定有期雇用教員・研究員の女性数増加を図っている。

【連絡先】東京大学男女共同参画室

TEL : 03-5841-0291 FAX : 03-5841-2065 E-mail : sankaku@adm.u-tokyo.ac.jp

URL : <http://kyodo-sankaku.u-tokyo.ac.jp/>

知の頂点に向かって加速！東大プラン

実施体制

総長

男女共同参画室

(平成26年10月現在)

- 担当理事1名、担当副理事1名
- 教員18名(内、各部局男女共同参画委員会委員長4名)
- 職員10名(教育・学生支援部、経営支援担当部、環境安全衛生部、人事部、施設部)
- 専任スタッフ1名(女性研究者支援室相談員)



連携

連携

連携

各部局内男女共同参画委員会

- 医学系研究科男女共同参画委員会
- 工学系研究科男女共同参画委員会
- 理学系研究科男女共同参画委員会
- 農学生命科学研究科男女共同参画推進企画室

東京大学保育園運営委員会

- 本郷けやき保育園運営小委員会
- 白金ひまわり保育園運営小委員会
- 駒場むくき保育園運営小委員会
- 柏どんぐり保育園運営小委員会

学生相談ネットワーク本部

他

勤務態様部会

- ◆ 次世代育成支援対策行動計画の策定
- 平成24年8月～第4期開始
- ◆ ワーク・ライフ・バランスの推進
- ペビシーター育児支援割引券の発行
- ワーク・ライフ・バランスハンドブックの発行
- ◆ キャリア形成期支援
- サポート要員配置支援の実施

進学促進部会

- ◆ 東大への女子学生進学推進
- 女子高生向け 東大説明会
- オープンキャンパス女子学生コース
- 冊子 Perspectives の作成
- 現役女子学生による母校訪問
- 女子中高生の理系進路選択支援事業
- ◆ 女子学生向けキャリア・ガイダンスの実施

環境整備部会

- ◆ 保育施設の整備
- 本郷けやき保育園、白金ひまわり保育園、柏どんぐり保育園、駒場むくき保育園(平成20年開園)
- ◆ 休憩室等のアメニティ充実
- トイレ環境改善プロジェクトとしてアンケート調査を実施し、順次改善を実施
- ◆ 安心、安全の確保
- 構内外LED設備調査

ポジティブ・アクション推進部会

- ◆ 基本理念・計画の策定
- ◆ 実施プランの提案
- 「東京大学男女共同参画加速」にかかる女性研究者養成計画の年内公表の実施
- 総長裁量ポストの分配
- 「女性研究者養成システム改革加速」事業の実施
- ◆ ポジティブ・アクション推進活動
- 各部局内男女共同参画委員会との連携：部会員に各委員長を含む

これまでの環境整備



平成19～21年度科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業 東大モデル「キャリア確立の10年」支援プランの実施

- キャリア確立10年の支援【キャリア支援】(ライフ支援)
- プレキャリア10年の支援
- 女性研究者支援相談室開設
- 学内全学対象保育園設置
- セミナー・国際シンポジウム等開催
- 「東京大学女性研究者白書」作成



各部局男女共同参画委員会の設置推進

《男女共同参画加速のための宣言》の策定・全学周知徹底

- 教員・研究員を公募する際に、女性の応募を歓迎する旨を明示する。
- 公正に行った評価に基づき、女性研究者を積極的に採用する
- 仕事と生活の調和を目指し、公的な会議は原則として17時以降行わない。



実施内容

優秀な女性研究者の養成

- 新規採用女性教員へのスタートアップ研究費支給
 - 女性教員の新規採用1人につき150万円以内
- 新規採用女性教員へのメンター配置
 - メンター教員への補助経費支給
- 理・工・農学系女性教員に対する研究スキルアップの支援
 - 国際学会への参加経費支給等
- 研究支援要員の雇用
 - 出産・育児のための研究支援が必要な者への技術補佐員の配置

2010年(事業開始時点)

女性教員比率: 9.9%
女子学部学生比率: 18.9%
女子大学院学生比率: 28.3%

問合せ先: 東京大学男女共同参画室 E-Mail: sankaku@adm.u-tokyo.ac.jp, URL: http://kyodo-sankaku.u-tokyo.ac.jp/

男女共同参画加速にかかる女性研究者養成計画事業

各部局に対し、総長裁量ポスト分配に基づく「女性研究者養成計画」を公募

● 8部局から応募

選考基準

- ① 具体的な数値目標
- ② 部局独自の採用枠による採用計画
- ③ 部局独自の女性研究者採用方法
- ④ 部局全体の取組

● 審査

● 理学系、工学系、農学生命科学研究科に 2009年度からの3年間で 総長裁量ポストを各3(計9)ポスト配分

● 女性限定公募 ⇒ 採用 (加速プログラム対象者)

- ◆ 理学系研究科: 2009年12月採用、2010年1月採用、2010年2月採用
2013年4月採用(いずれも助教)
- ◆ 工学系研究科: 2010年1月准教授昇任(他部局より)、2011年1月教授昇任、2011年11月助教採用
- ◆ 農学生命科学研究科: 2010年3月採用、2011年4月採用、2011年10月採用
2013年12月採用(いずれも准教授)

【最終目標】

2020年までに
女性教員比率: 20%
女子学生比率: 30%
「行動シナリオFOREST2015」
<http://www.u-tokyo.ac.jp/scenario/>

2014年(事業最終年度の年度末目標)

5年間で43名新規採用

2014年(5月現在)

50名新規採用完了

在籍女性研究者比率目標:
理学系8.7%、工学系6.9%、農学系8.7%

女性教員比率: 11.8%

女子学部学生比率: 18.8%

女子大学院学生比率: 27.4%

2012年

35名新規採用完了

【目標】3年間で26名新規採用

女性教員比率: 11.0%

女子学部学生比率: 18.3%

女子大学院学生比率: 27.7%

候補者の育成(自己経費)

- 外部資金を活用した特定有期教員・研究員の女性数増加を図る
- 女子学生数の増加を図る



2013年度 述べ参加人数483名
男女共同参画室、理学部、工学部、農学部
生産技術研究所、数理科学研究科、
宇宙線研究所、カブリ数物連携宇宙研究機構

2014年度 イベント開催予定
男女共同参画室、宇宙線研究所、カブリ数物連携宇宙研究機構理学部
理学部、新領域創成科学研究科、物性研究所、大気海洋研究所
空間情報科学研究センター、農学部、工学部、生産技術研究所、数理科学研究科



理系最前線
東京大学 女子中高生理系進路支援



女性研究者の参画加速